

平成30年7月

平成30年	4月 ~	6月期	実績
平成30年	7月 ~	9月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目 次

主要景況項目の動き.....	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移	23
* 平成15年1月以降	
〔集計資料〕	

D・I とは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

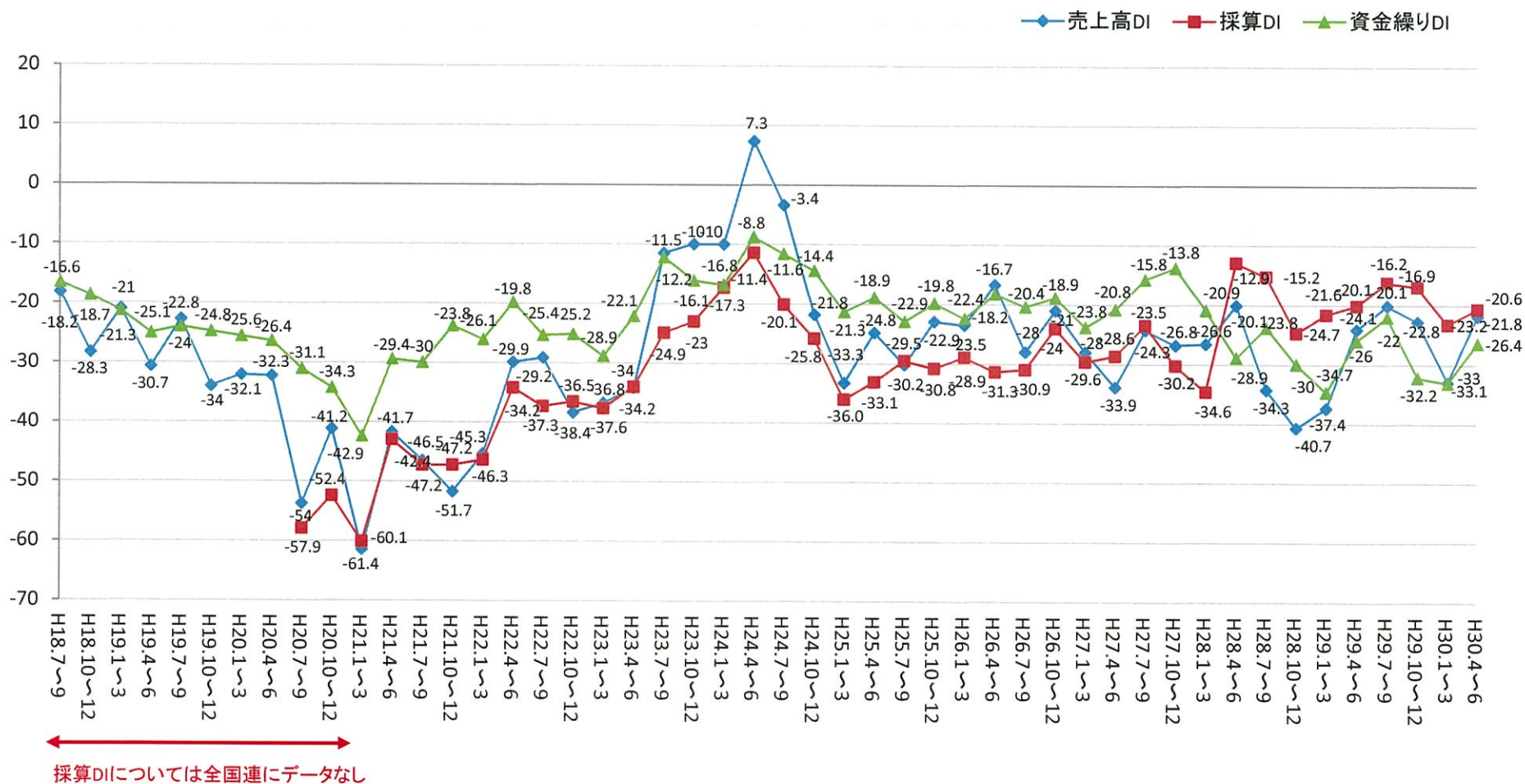
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成28年		平成29年				平成30年		(見通し)
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
製 造 業	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 薄 曇	 曇	 曇	 曇
建 設 業	 晴	 雨	 晴	 曇	 薄 曇	 曇	 雨	 雨	 曇
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 雨	 雨	 雨	 曇	 曇	 曇	 雨	 雨	 曇

売 上 高 D I	100.0 ～30.1	30.0 ～10.1	10.0 ～△10.0	△10.1 ～△30.0	△30.1 ～△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

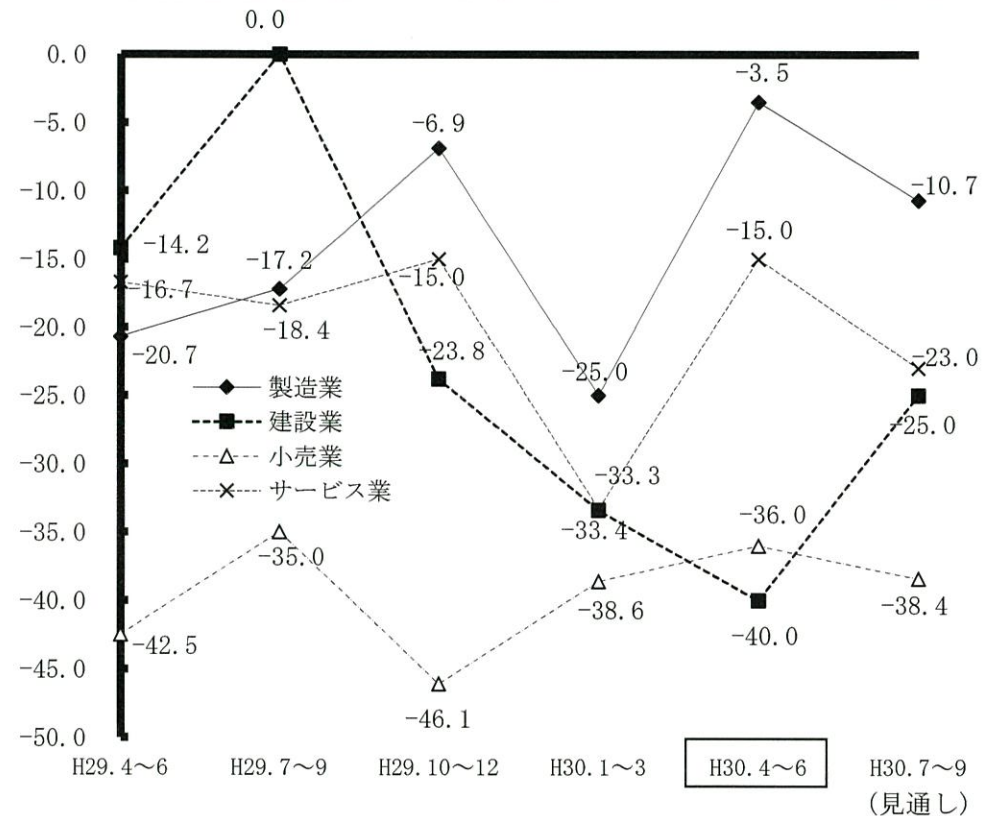
全産業の推移

売上高

**製造業、サービス業が大幅に上昇
建設業が3期連続の低下**

今期は、製造業が21.5ポイント上昇して△3.5まで回復しました。また、サービス業も18.3ポイント上昇して△15.0となっています。小売業は2.6ポイントの小幅な上昇にとどまっています。建設業は、6.6ポイント低下し、3期連続の低下となり△40.0まで悪化しました。

来期は、今期大幅に上昇した製造業、サービス業が低下に転じ、小売業も小幅に低下すると予想されます。また、3期連続して低下した建設業は、大幅な上昇が見込まれています。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

採 算

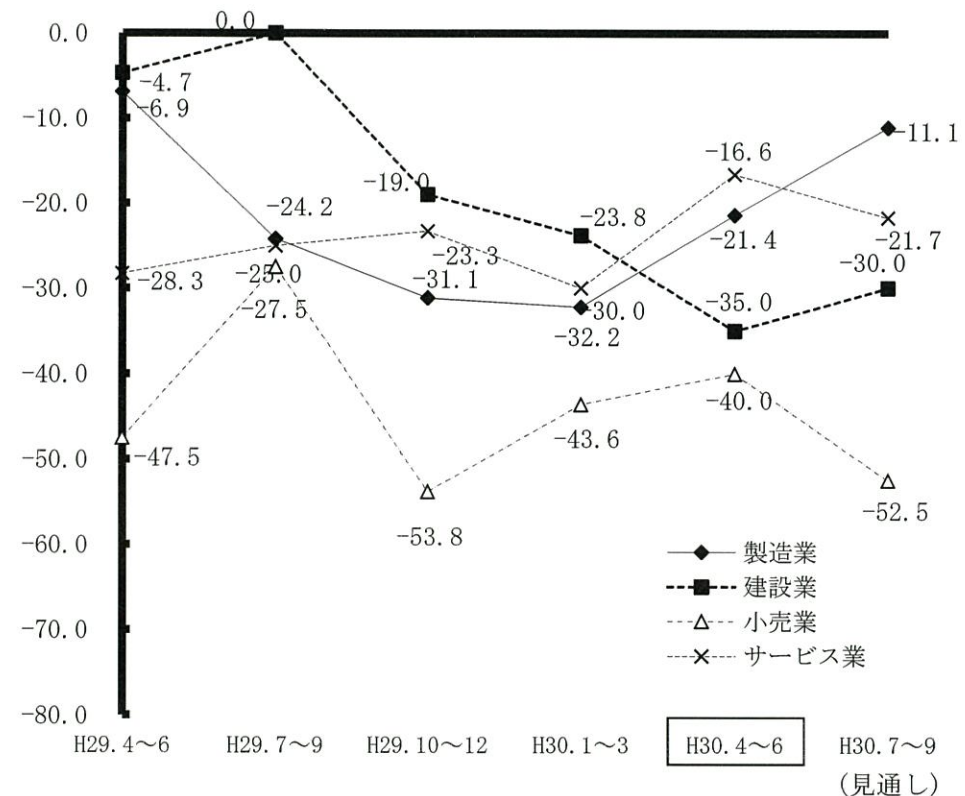
サービス業、製造業、小売業が好転
建設業が悪化

今期は、サービス業が13.4ポイントの大幅な増加となり△16.6まで上昇、製造業も8.6ポイント増加して△21.4となりました。小売業も小幅に上昇して△40.0となっています。

建設業は11.2ポイントの大幅な低下となり、3期連続の低下により△35.0まで悪化しています。

来期は、製造業、建設業において好転することが予想されているものの、サービス業、小売業においては悪化に転じるものと見込まれます。

※採算は各業種とも経常利益



全産業の推移

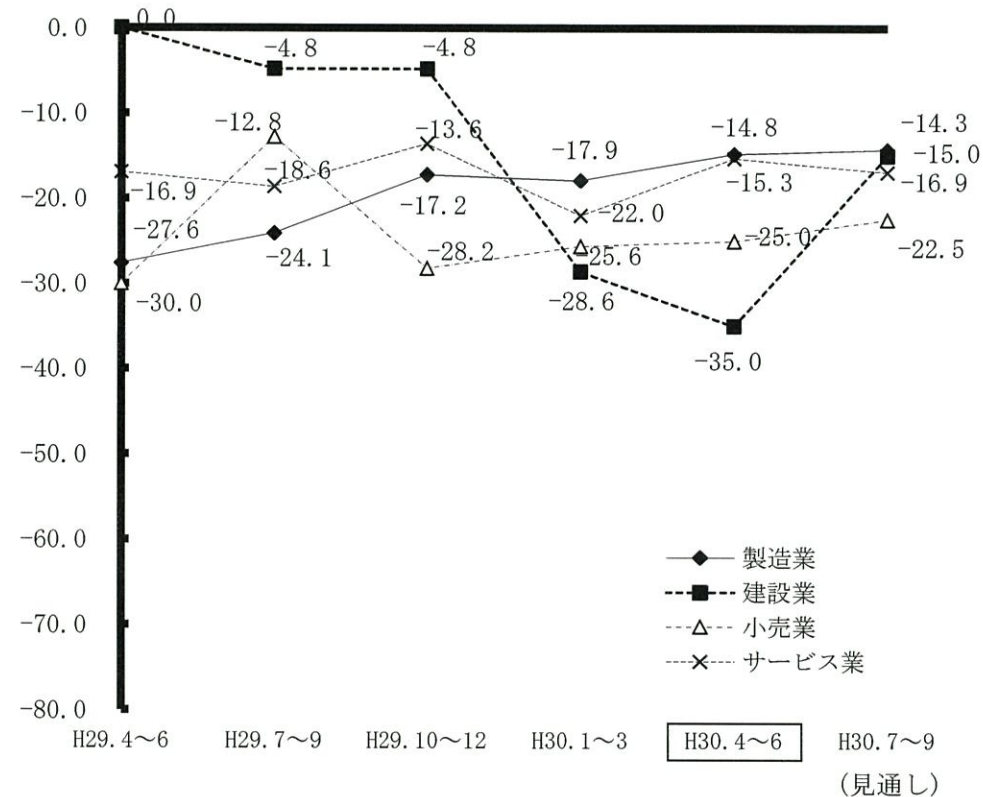
資金繰り

サービス業が小幅に改善
建設業が悪化

今期は、サービス業が6.7ポイント上昇して△15.3、製造業が3.1ポイント上昇して△14.8、小売業が0.6ポイント上昇して△25.0となり、この3業種において資金繰りが好転しています。

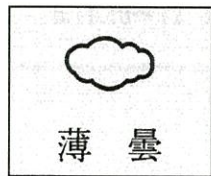
建設業においては、6.4ポイントの低下となり、3期連続低下して△35.0まで悪化しています。

来期は、建設業において大幅な改善が見込まれ、また、製造業、小売業、サービス業においては横ばい見通しとなっています。



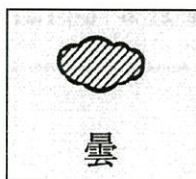
売上高

<今 期>



薄 雲

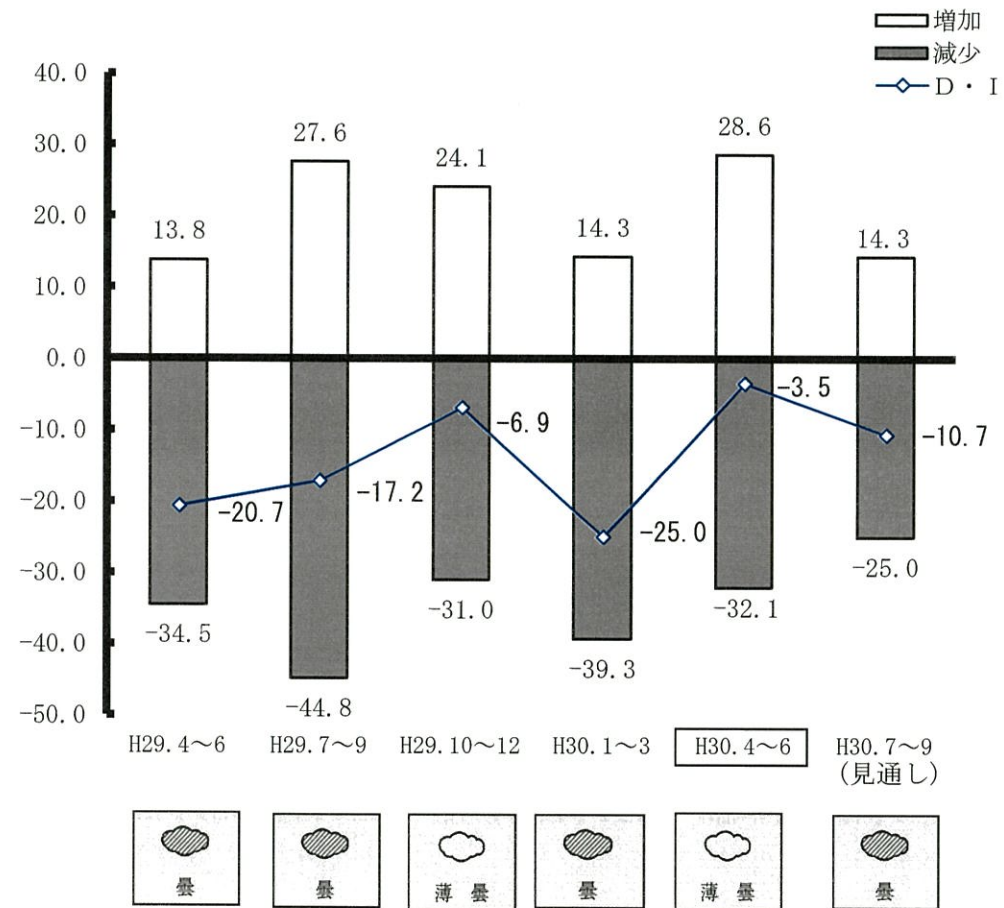
<来期見通し>



曇

今期は、売上高増加企業の増加と、売上高減少企業の減少により、売上高D・Iは21.5ポイントの大幅な増加となり、△3.5まで回復しました。業況天気図も曇から薄曇へと変化しています。

来期は、売上高の減少を予想する企業割合が減少するものの、売上高の増加を予想する企業割合も減少が見込まれ、売上高D・Iは悪化に転じる見通しです。



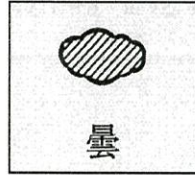
製造業の推移

採算

<今 期>

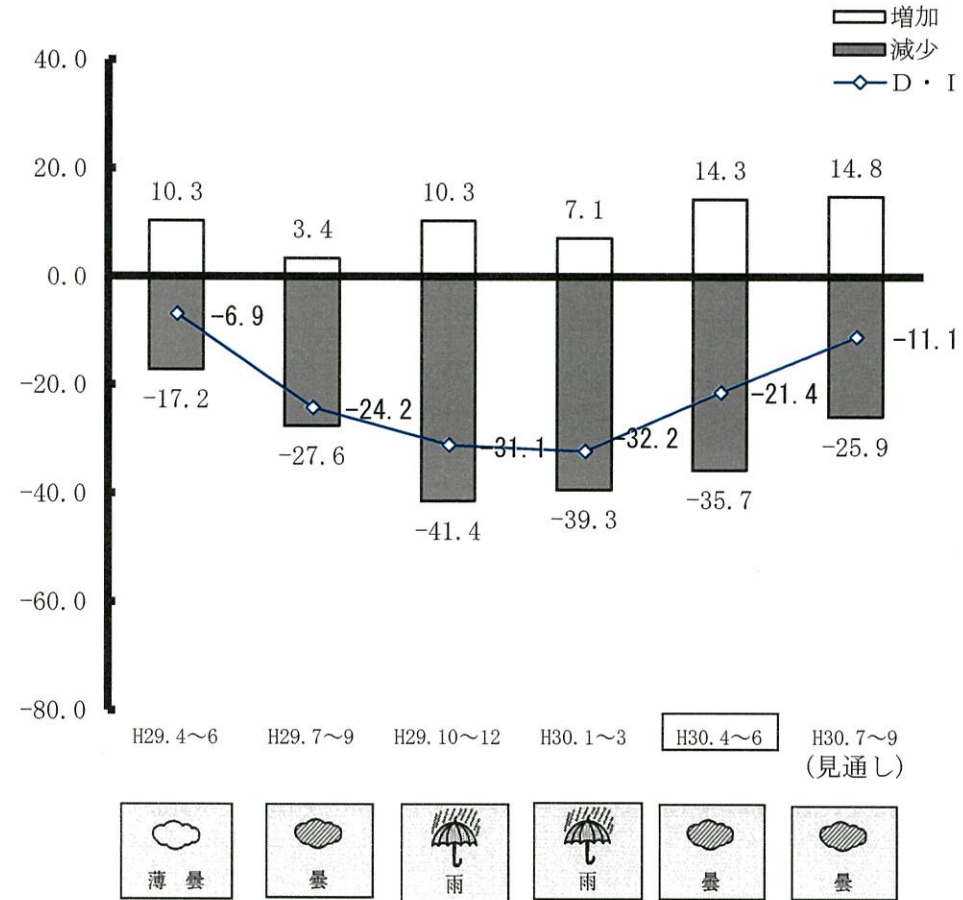


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が7.2ポイント増加し、採算が悪化した企業の割合が3.6ポイント減少したことから、採算D・Iは10.8ポイント上昇して△21.4となりました。

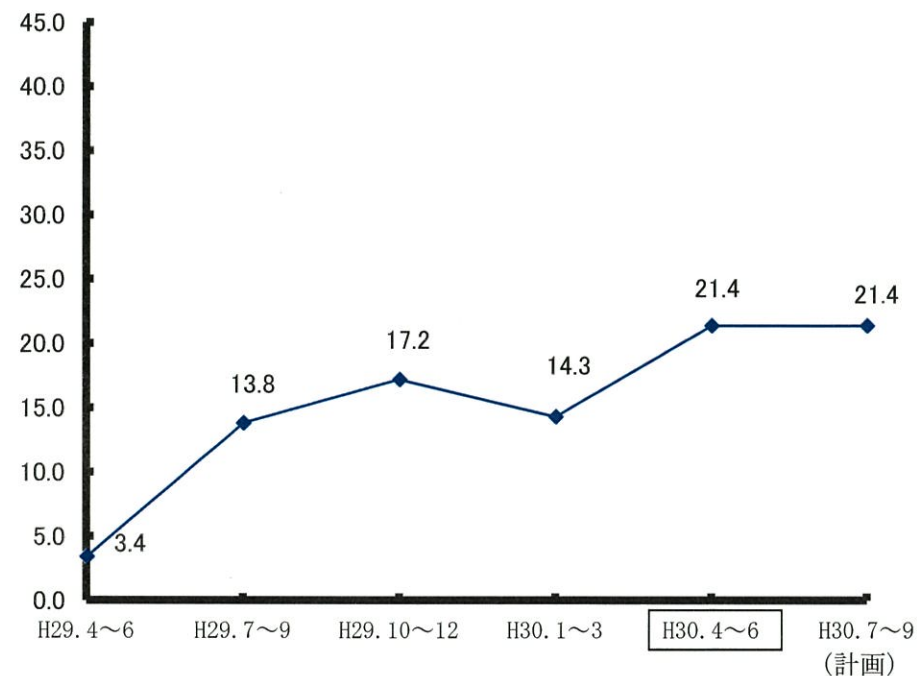
来期の採算D・Iは、採算の改善を予想する企業は、ほぼ横ばいにとどまるものの、採算の悪化を予想する企業割合が大幅に減少すると見込まれることから、採算D・Iは好転する見通しです。



設備投資

今期は、設備投資を実施した企業数の割合は増加に転じ、21.4まで上昇しました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は、今期と横ばいとなる見通しです。



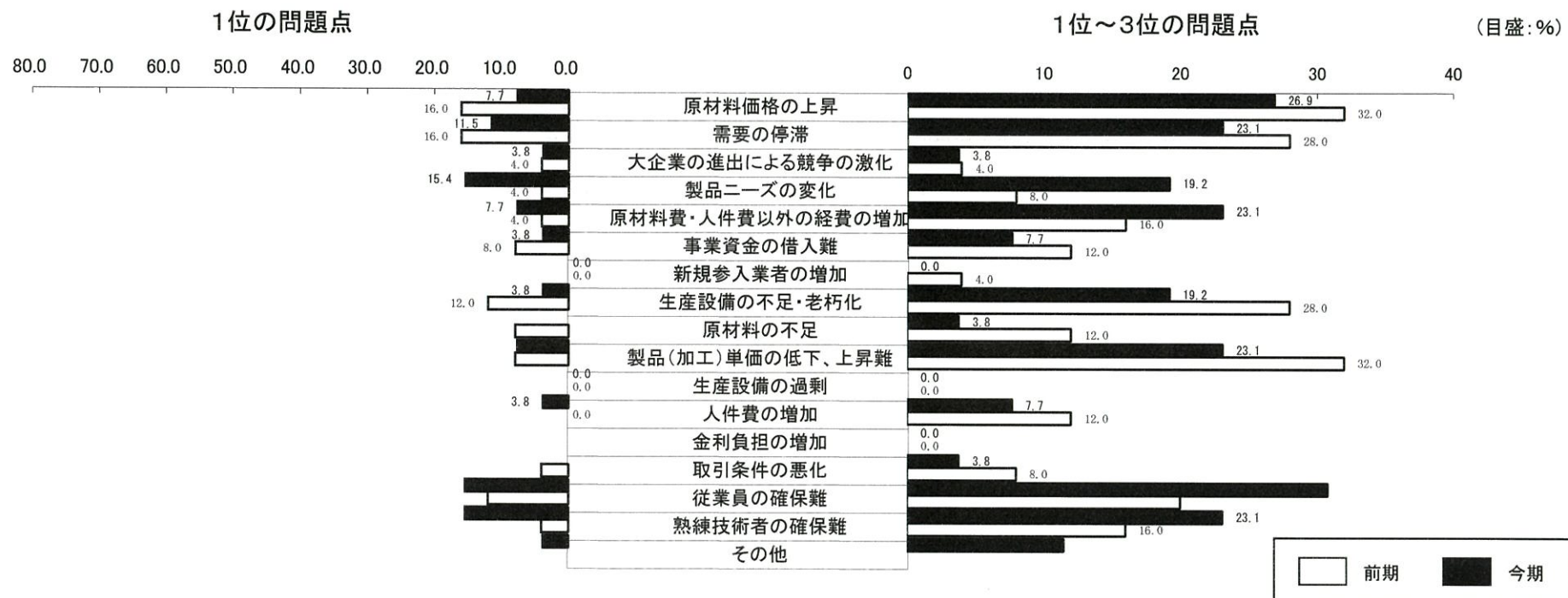
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



建設業の推移

売上高

<今 期>

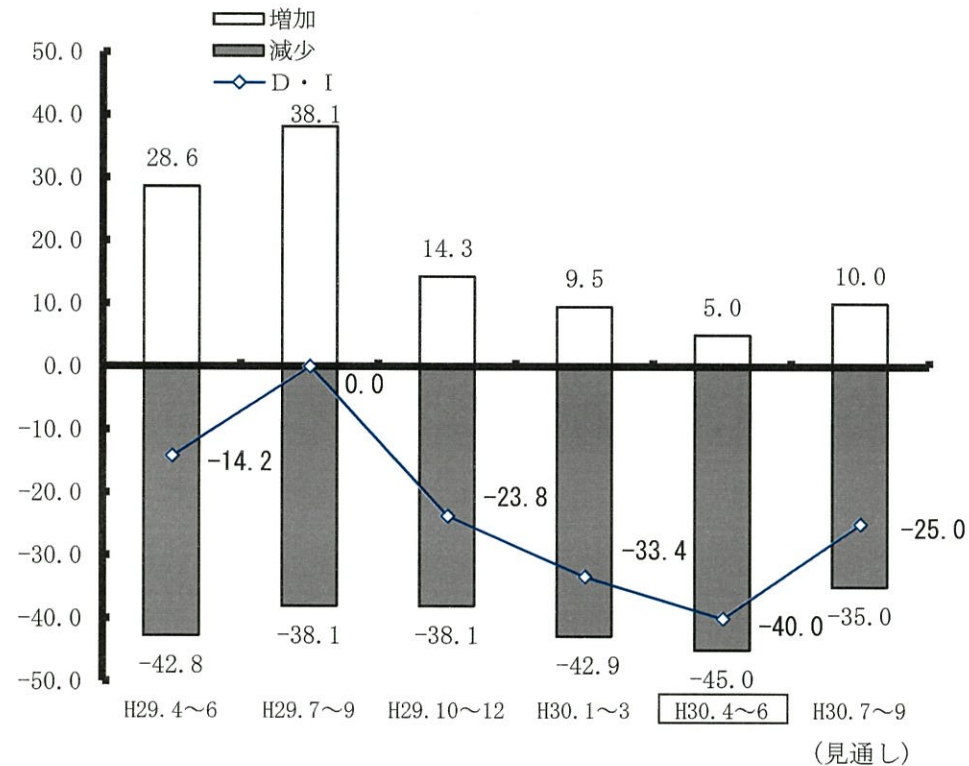


<来期見通し>



今期は、売上高が増加した企業割合が減少し、売上高が減少した企業割合が増加したことから、売上高 D・I は3期連続の低下となってマイナス幅が拡大し、△40.0まで低下しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が増加し、売上高の減少を予想する企業の割合も減少すると見込まれることから、売上高D・Iは上昇に転じ、マイナス幅が縮小する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

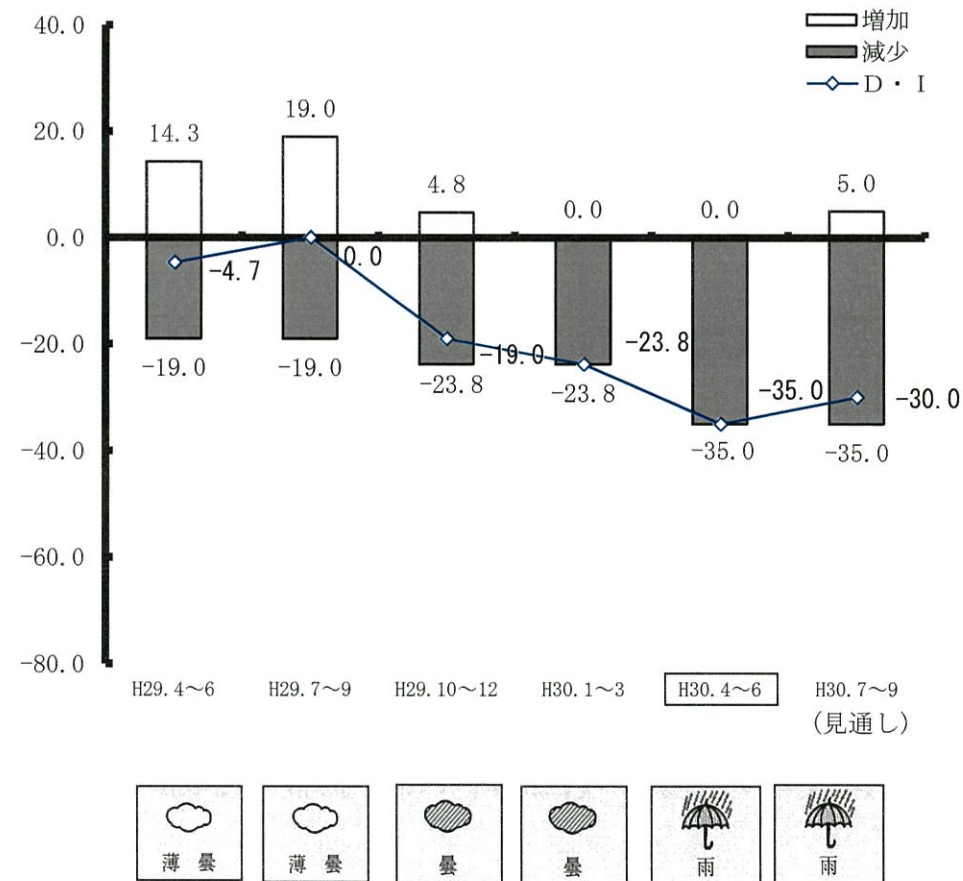


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業の割合が0.0にとどまる一方、採算が悪化した企業の割合が11.2ポイント増加したため、採算D・Iは11.2ポイント低下し、△35.0まで悪化しました。業況天気図も曇から雨へと変化しています。

来期は、採算の改善を予想する企業割合が増加し、採算の悪化を予想する企業が横ばいとなることから、採算D・Iは上昇する見通しです。



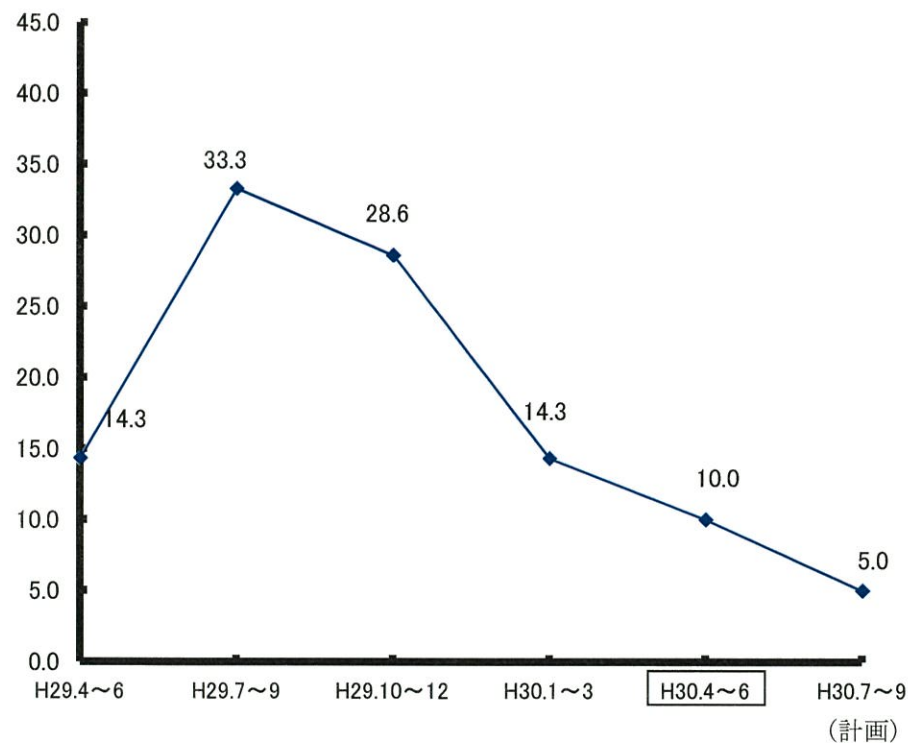
建設業の推移

設備投資

今期、建設業において設備投資を実施した企業数の割合は10.0まで低下し、3期連続の減少となりました。

来期も、設備投資を予定する企業数の割合は引き続き減少することが見込まれ、5.0まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

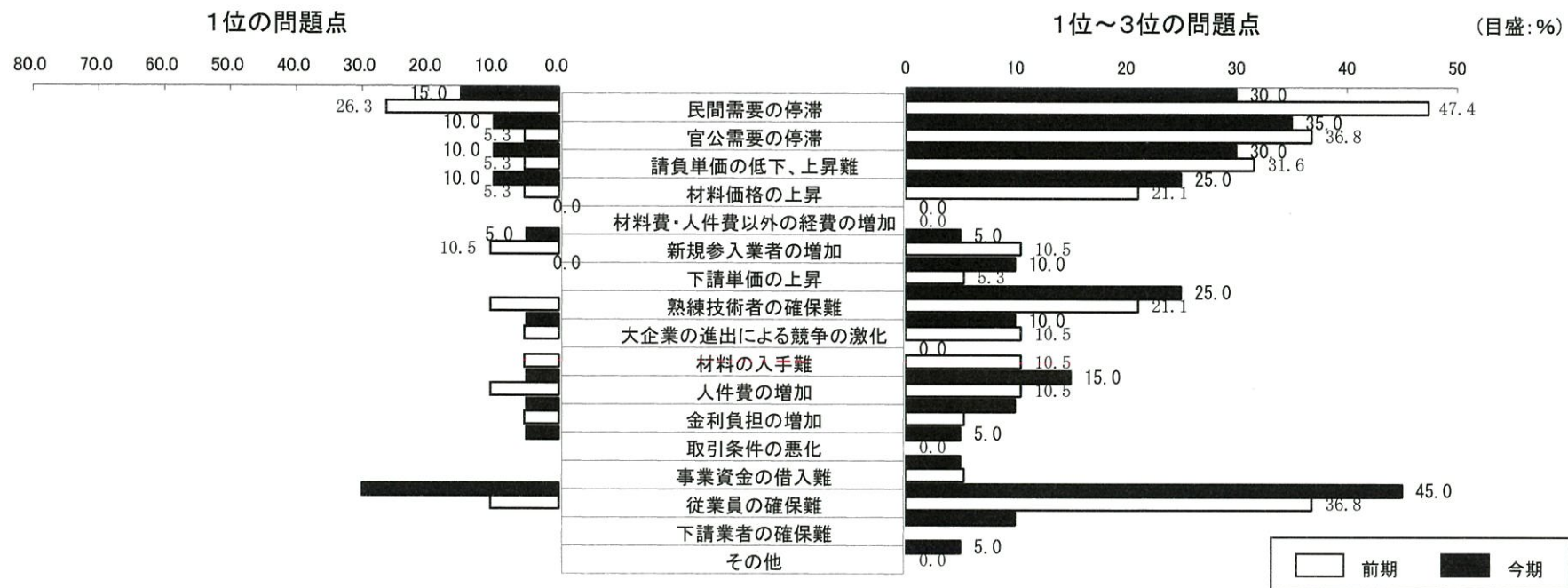


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



小 売 業 の 推 移

売 上 高

<今 期>

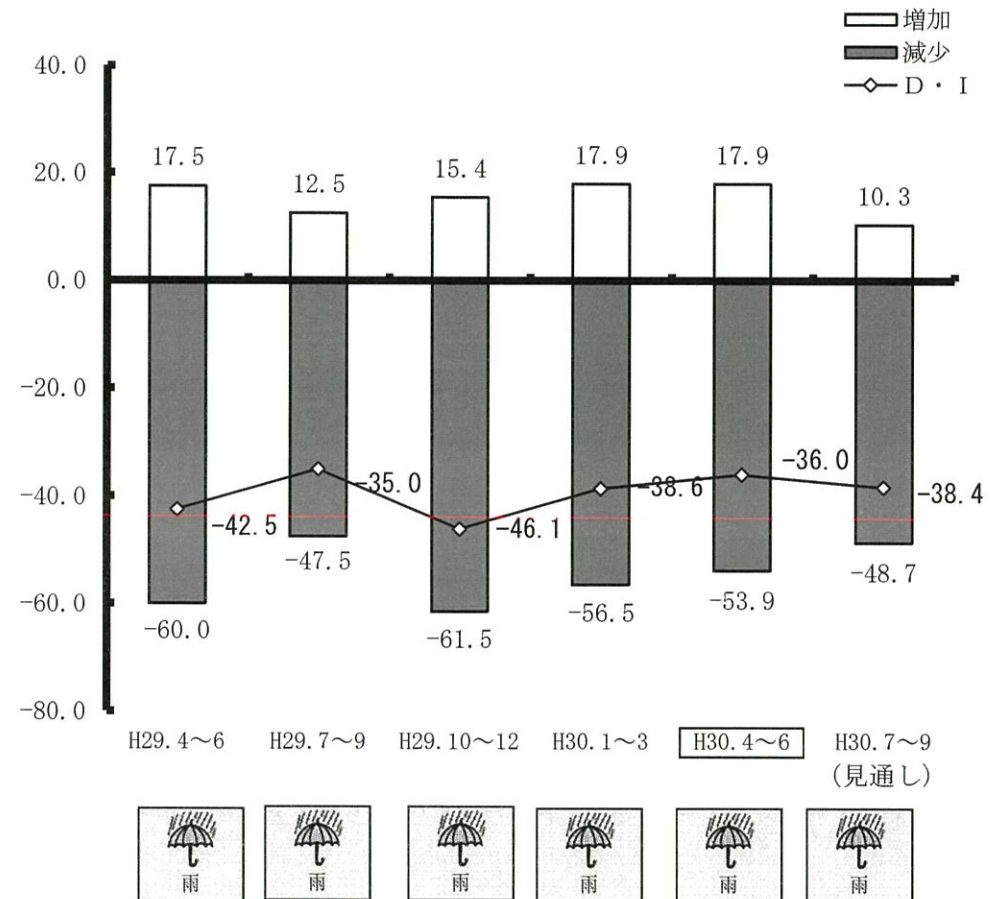


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合は横ばいとなったものの、売上高減少企業の割合が減少したことにより、売上高D・Iは2.6ポイント上昇し、△36.0となりました。

来期は、売上高減少を予想する企業の割合は減少が見込まれるものの、売上高増加を予想する企業割合も減少するため、売上高D・Iは僅かに低下する見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

<今 期>

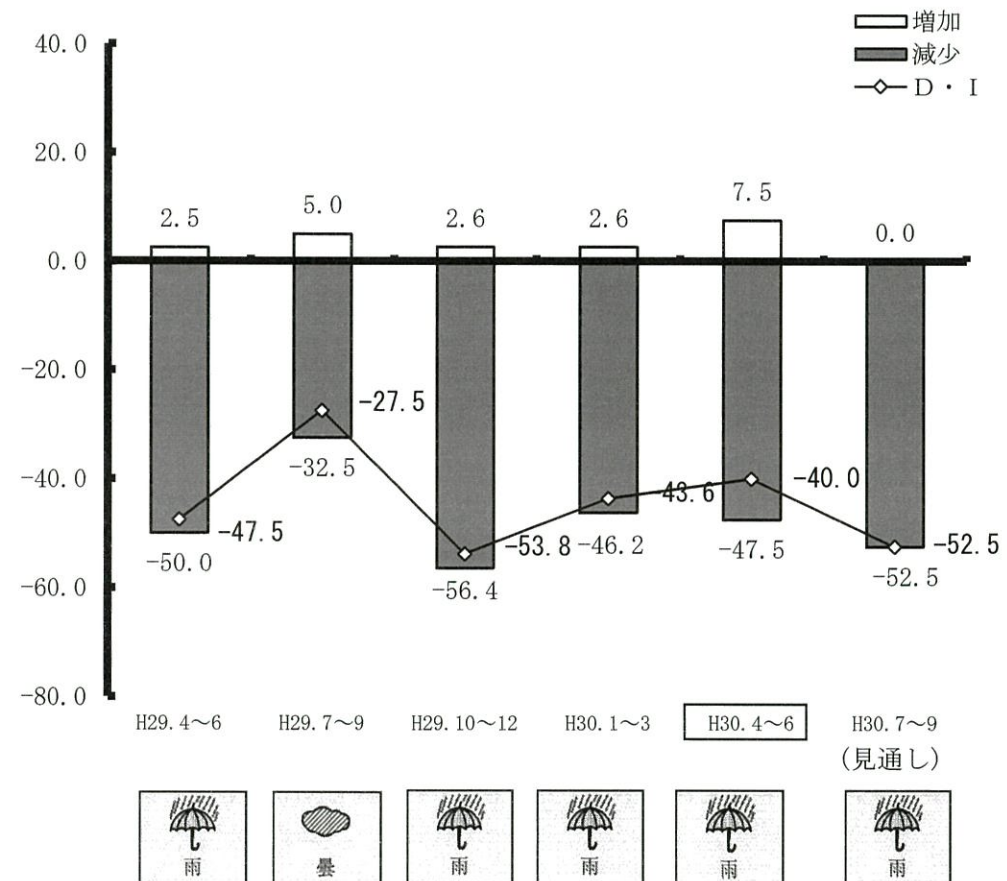


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業の割合が4.9ポイント増加したものの、採算が悪化した企業の割合も増加したため、採算D・Iは3.6ポイントの小幅な上昇にとどまりました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合は0.0となり、採算の悪化を予想する企業割合が増加するため、マイナス幅が拡大し、採算D・Iは△52.5まで悪化する見通しです。

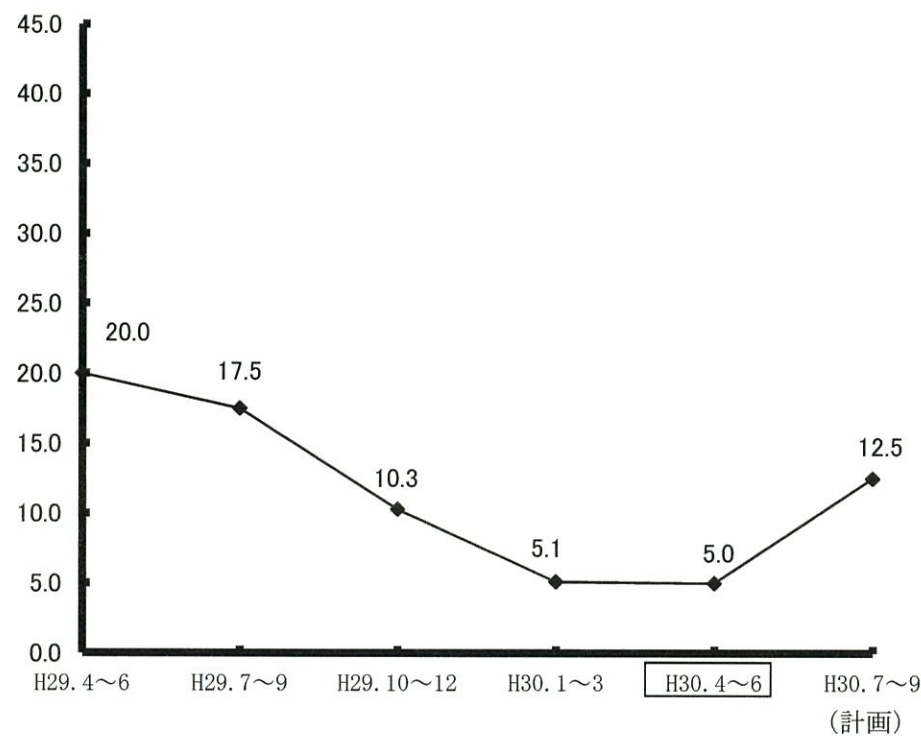


設 備 投 資

今期、設備投資を実施した企業数の割合は、前期とほぼ横ばいの5.0にとどまり、4期連続の減少となりました。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合は12.5まで増加すると見込まれています。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

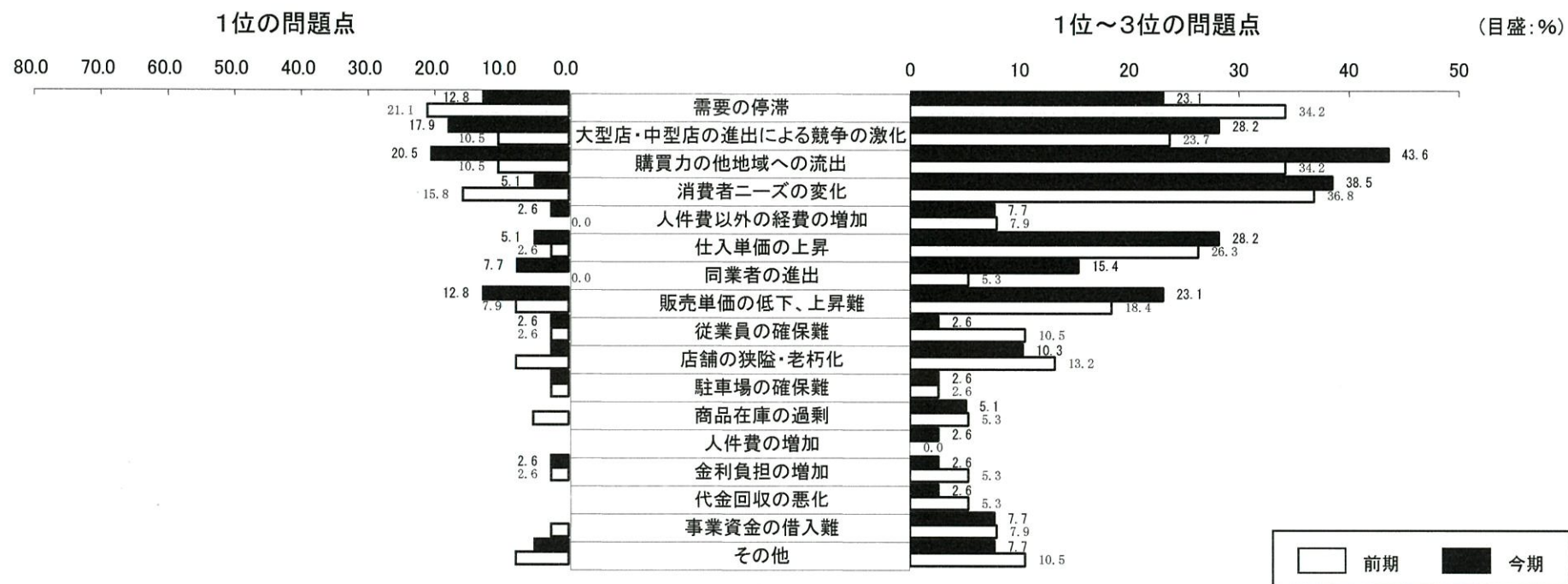


小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



サービス業の推移

売上高

<今 期>

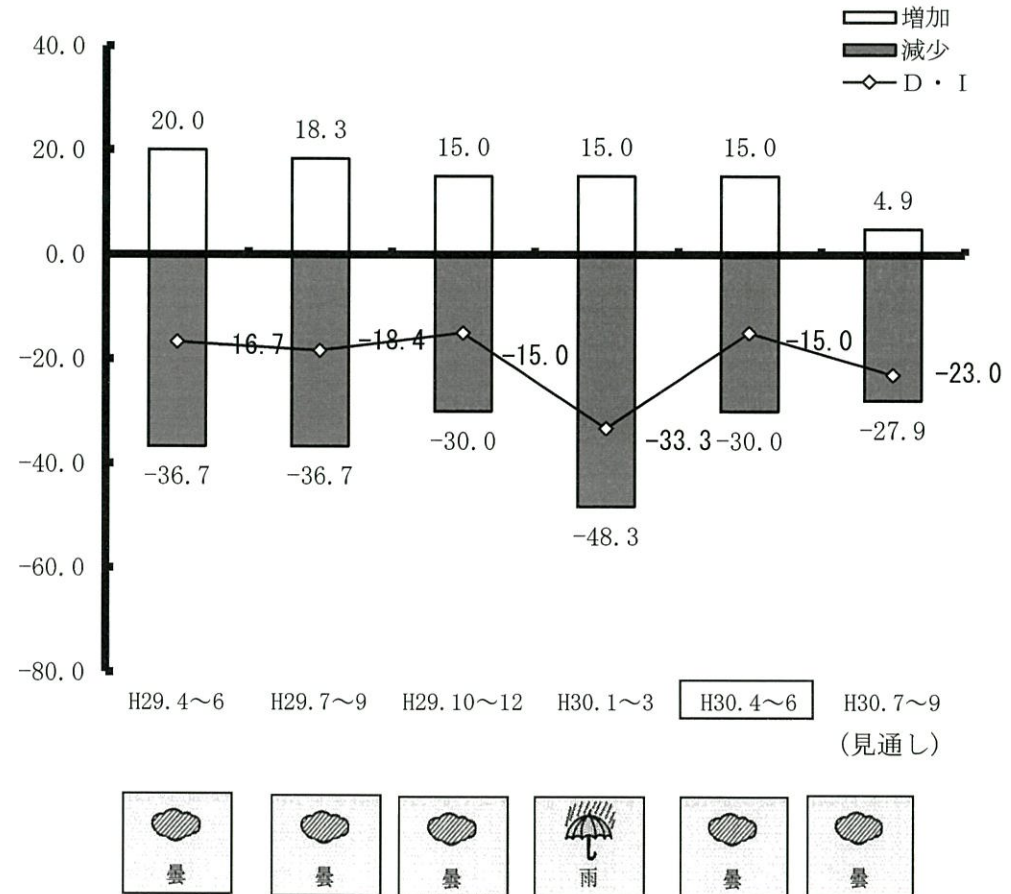


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業の割合は前期と横ばいとなったものの、売上高減少企業の割合が18.3ポイントの大幅な減少となったため、売上高D・Iは18.3ポイント上昇し、△15.0まで回復しました。

来期は、売上高減少を予想する企業の割合は減少するものの、売上高増加を予想する企業の割合が大幅に減少することが見込まれることから、売上高D・Iは減少に転じ、△23.0となる見通しです。



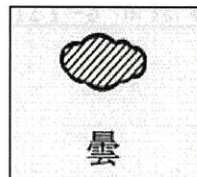
サービス業の推移

採算

<今 期>

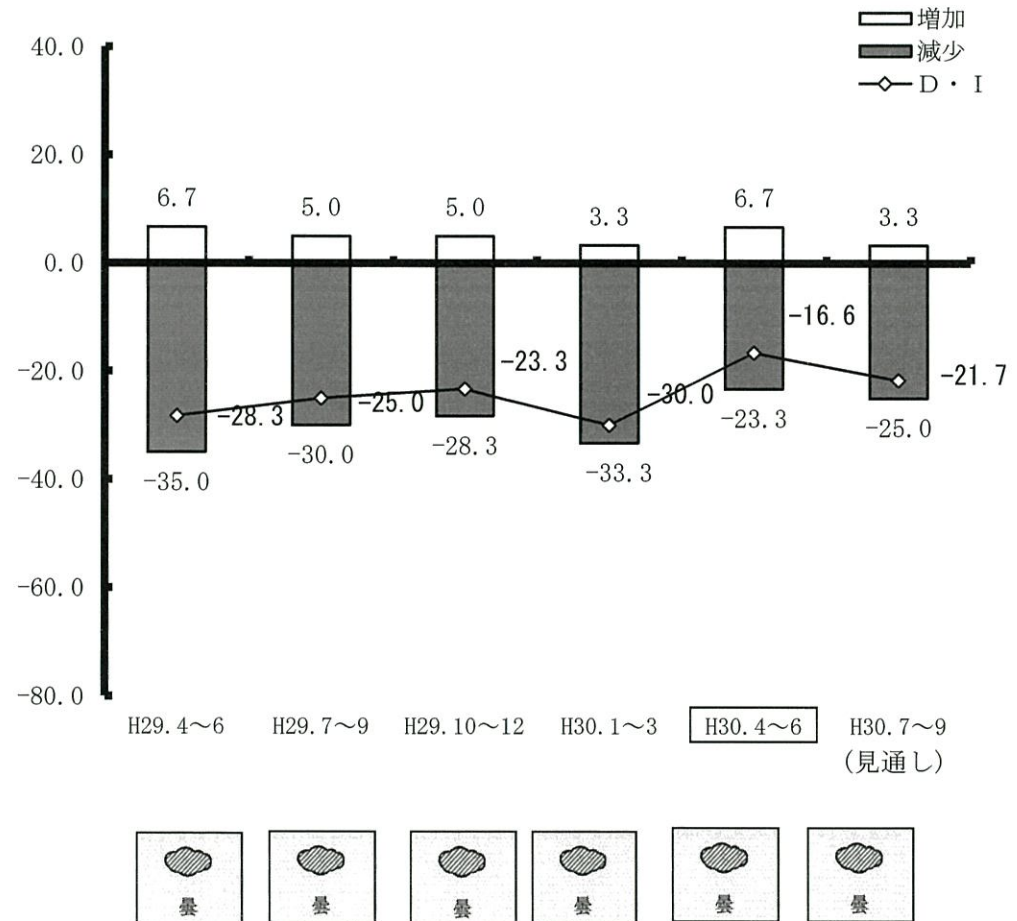


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が3.4ポイント増加し、採算が悪化した企業割合も10.0ポイント減少したことから、採算D・Iは13.4ポイント上昇して△16.6まで改善しました。

来期は、採算の改善を予想する企業割合が減少し、採算の悪化を予想する企業割合が増加する見込みで、採算D・Iは△21.7まで低下し、マイナス幅が拡大する見通しです。



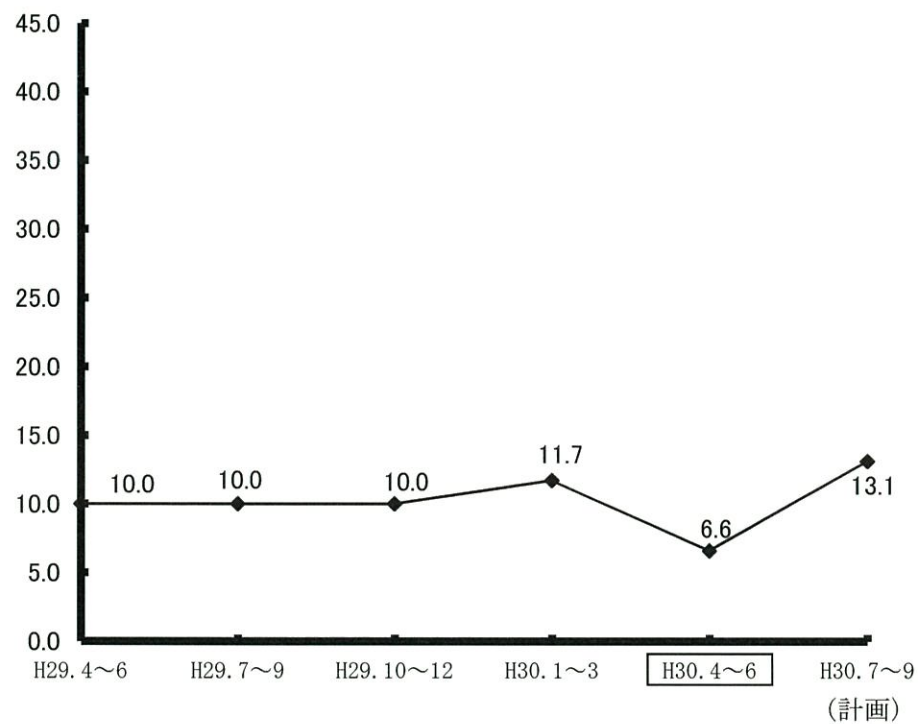
サービス業の推移

設備投資

今期は、設備投資を実施した企業数の割合は減少し、6.6まで低下しました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は増加に転じることが予想され、13.1まで増加する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

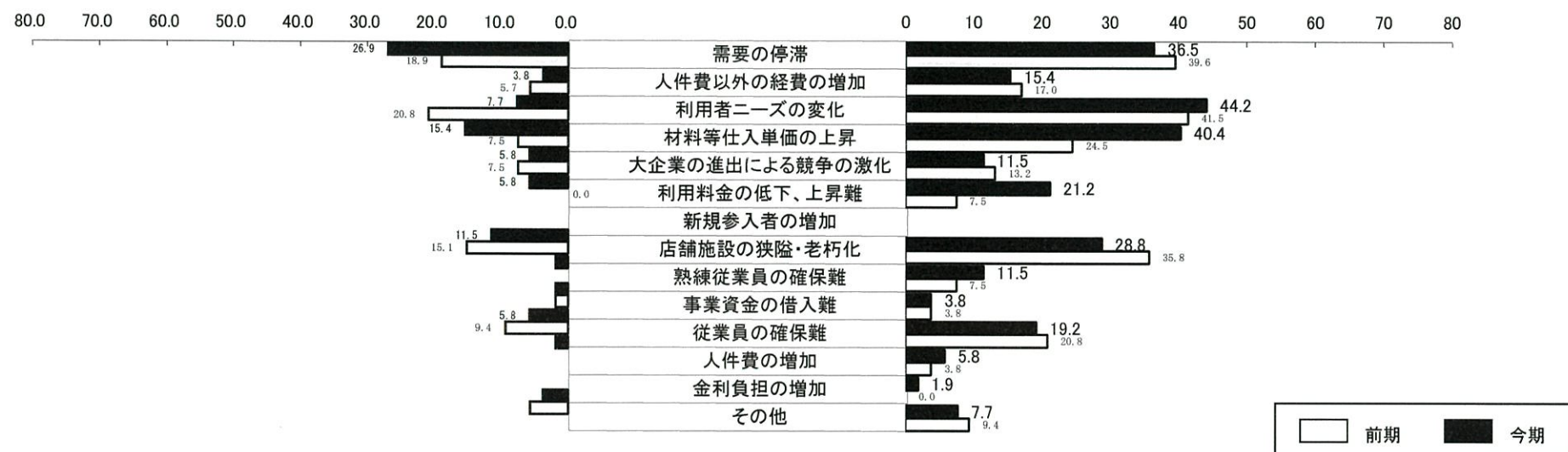
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

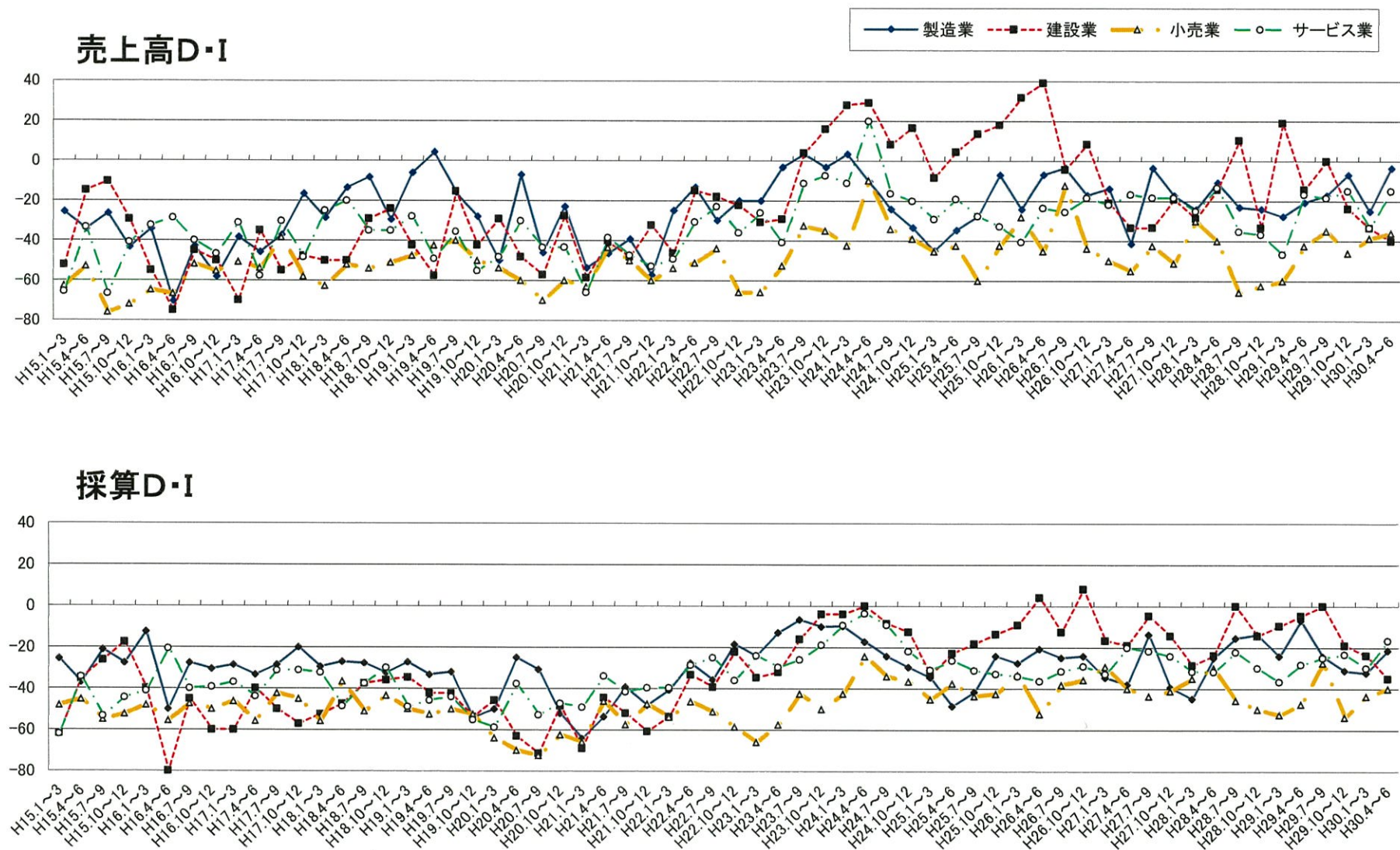
1位の問題点

1位～3位の問題点

(目盛:%)



全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、二戸市、雫石、岩手町、紫波町
(商工会名) 前沢、金ヶ崎町、田野畑村、普代、九戸村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 149 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成30年4月～6月を対象とし、調査時点は平成30年6月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	28 (18.8)	96.6
建 設 業		20 (13.3)	20 (13.4)	100.0
小 売 業		40 (26.7)	40 (26.8)	100.0
サ ー ビ ス 業		61 (40.7)	61 (40.9)	100.0
		150 (100.0)	149 (100.0)	99.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（上昇、好転、長期化）企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものであります。